



【指導事例 1】

1 主 題 「勤労の尊さや意義を理解し、社会に貢献しようとする心」〔勤労〕

2 ねらい

信念に基づき、社会貢献を実現した先人の生き方を知ることを通して、自身の生き方に生かそうとする心情を育む。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、医師である高橋房次が、理想とする医療の実現のために、誰に対しても平等に接し、医療に従事した功績に触れることを通して、勤労の尊さの意義を理解し、社会に進んで貢献しようとする心情を育むことをねらいとしています。

前半では、高橋房治が医者として病気で苦しんでいる人を分け隔てなく診察したり、時間や距離を問わずに医療に携わったりする姿について触れています。

後半では、アイヌの人たちが病院を受診できるように一人一人と真剣に向き合って話し合うことを通して、アイヌの人たちが次第に高橋房治に心を開いていく様子について触れています。

指導に当たっては、高橋房治が、アイヌの人たちに分け隔てなく医療を行おうとする生き方について多面的・多角的に話し合い、勤労の尊さや意義を理解し、社会に貢献しようとすることについて深く考えさせることが重要です。

4 展開例—①「房治の医療への姿勢について、話し合う活動を通して、勤労の尊さや意義、社会貢献について考える展開」

	● 学習活動 ○ 主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ● 自身の職業観について話し合う。 ○ 人は何のために働くのでしょうか。 ・人や社会の役に立つことで、自分の生きがいにするため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値への方向付けとして、働く目的に着目させ、勤労について想起する場を設ける。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「コタンの赤ひげ先生」を読み、話し合う。 ○ 房次は、理想とする医療の実現に向け、医者としてどのような行動をとったのでしょうか。 ・病気で苦しんでいるのは皆同じなので、誰に対しても差別をせずに診察した。 ・困っている人を助けるために、時間や距離を問わず、診察した。 ◎ 「明日からまた、白老町で聴診器を持ちます。」という言葉には、どのような思いが込められているのでしょうか。 ・医者としての名誉よりも、多くの人と触れ合うことを大切にしたい。 ・自分の信念を曲げることなく、これからも病気で困っている人の力になりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高橋房次が活躍した時代背景と社会情勢を確認する。 ・高橋房次が、自身の勤労観に基づいて行動していることについて、生徒が抱えている医者のイメージと比べて考え、人間理解を深めさせる。 ・登場人物が、アイヌの人たちに分け隔てなく医療を行おうとする過程を多面的・多角的に話し合い、価値理解・他者理解を深めさせる。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 人間としての生き方について考える。 ○ 働くことには、どのような意味があるのでしょうか。 ・働くことに誇りと生きがいをもち、社会に役に立っていると実感すること。 ・働くことを通して、自らの目的を実現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことについて、自分の人間としての生き方を振り返り、自己理解を深めさせる。 ■ 勤労の大切さを理解し、進んで社会に貢献することの大切さについて、自分との関わりで、考えを深めている。
終 末	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師の説話を聞く。 ※地域の様々な職業に就いている人たちの取組についての話を通して、将来の自分の生き方について考えを深め、社会に貢献しようとする意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が、勤労を通して社会貢献している身近な人々の取組を紹介し、生徒が勤労の意義を考え、社会に貢献しようとする心情が育まれるようにする。

【指導事例 2】

1 主 題 「勇気や希望をもって目標を達成しようとする心」〔希望と勇気、克己と強い意志〕

2 ねらい

信念に基づき、社会貢献を実現した先人の生き方を知ることを通して、困難や失敗を乗り越えて挑戦し、逆境に立ち向かう態度を育てる。

3 展開例—②「生活の中で設定した目標の実現に向け、努力する体験をさせ、その体験を振り返る活動を通して、目標の達成には何が必要かを考える展開」

主な学習活動

(1) 何があっても達成したい自分の目標や夢などについて話し合う。

- ・自分の所属している部活動の大会で、よい成績を残したい。
- ・自分の希望している高校に進学できるよう、テストでよい結果を残したい。
- ・将来、自分の希望する職業に就きたい。

(2) 困難な状況において、なぜ、高橋房治は仕事を続けることができたのだろうか。

- ・母の言葉の「世のため人のため」という信念を忘れなかったから。
- ・目の前の困っている病人を救いたいという気持ちを常にもっていたから。
- ・多くの人々が房治を信頼し、受診してくれるようになり、それを裏切りたくなかったから。

(3) 自分の目標を達成するために必要なことについて話し合う。

- ・くじけそうになったとき、絶対にやり抜くという強い意思をもつこと。
- ・自分の将来の生き方に迷ったとき、初心を忘れないこと。
- ・小さなことでも堅実に取り組み、努力を惜しまないこと。

4 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

■ 保健体育科

集団による運動をする際に、本教材を活用し、自分の目標を設定したり、目標に対する自己評価を行ったりすることを通して、目標達成や自己実現に向けて、粘り強くやり遂げることの大切さについて考えることができるようにする。

また、目標の実現には、困難や失敗を乗り越えることが必要であることを実感させ、困難や失敗を乗り越える強い意志や、逆境から立ち直る力を育み、困難に直面したときの心構えについて考えることができるようにする。

■ 総合的な学習の時間

職業や自己の将来に関する探究課題を設定した学習活動において、本教材を活用することを通して、自分の現状に甘んずることなく自分の将来の夢や希望の実現に向けて「より高い目標」を設定することの大切さについて深く考えさせることで、目標に向かって努力し続けようとする姿勢や、失敗にとらわれない柔軟な思考の大切さに気付くことができるようにする。

■ 特別活動（学級活動）

学級活動の主体的な進路の選択や将来設計に関する学習において、本教材を活用することを通して、学校、学級生活の具体的な目標を設定させ、その実現に向けて努力する体験を通して、目標の達成には何が必要かを考えたり、自らの体験を自己評価したりすることができるようにする。

また、仲間と協力し続け、目標を達成できたときの成就感や達成感を繰り返し味わわせることで、挑戦することから逃げないで努力し続ける姿勢の大切さについて考えることができるようにする。

■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝えるとともに、自分の夢や目標をもったり、その実現に向けた課題や解決の方法を考えたりすることの大切さについて話し合ってもらおうよう依頼し、生徒が自分なりの方法で夢や目標に向けて努力しようとする意欲を高めることができるようにする。